

幕張新都心モビリティコンソーシアム 自動運転WG (第5回) 議事要旨

1 日時 令和4年2月18日(金) 15:00~16:00

2 場所 オンライン開催

3 出席

アイサンテクノロジー株式会社
イオン株式会社
株式会社ヴァル研究所
MS&ADインターリスク総研株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
京成バス株式会社
株式会社建設技術研究所
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
損害保険ジャパン株式会社
ダイナミックマップ基盤株式会社
株式会社ティアフォー
日本信号株式会社
ビー・トランセホールディングス株式会社
三ツ矢エミタスタクシーHD株式会社
千葉県
千葉市

4 議題

- (1) 自動運転バス実証実験の実施報告について(京成バス(株)、損害保険ジャパン(株))
- (2) 総会に向けたWGの検討報告について(京成バス(株)、損害保険ジャパン(株))
- (3) アンケート(実用化への検討事項)結果の共有について(各WG会員)

5 配布資料

- 資料1 自動運転バス実証実験の実施報告について
資料2 総会に向けたWGの検討報告について
資料3 アンケート(実用化への検討事項)結果の共有について(非公表)

■議事内容

1. 開会

2. 議題

(1) 自動運転バス実証実験の実施報告について

京成バス株式会社及び損害保険ジャパン株式会社より、今年度の自動運転バスの実証実験の結果を報告。

(2) 総会に向けたWGの検討報告について

京成バス株式会社より、幕張新都心モビリティコンソーシアム第3回総会に向けてのWG検討報告事項について資料に沿って説明。

(3) アンケート（実用化への検討事項）結果の共有について

実用化への検討すべき事項等について意見交換。

【主な意見】

- ・自動運転導入の目的、得たい成果から逆算したルート設定が必要。海側、山側それぞれの特徴があるため、インフラ整備等のコストを把握した上でどちらから導入するか決定すると良い。
- ・インフラ整備は自治体が主体となって検討すべき。2025年の実装を見据えると、実証期も含めて早期の整備方針の決定が必要。
- ・持続可能なビジネスモデル構築には、運賃のみの収入は困難。広告や利益を享受する民間負担、一定の自治体支援が必要。
- ・一般交通を公共交通へ転換させる施策も併せて検討してはどうか。（トランジットモール化等）
- ・自動運転サービスに当たっては、既存利用者を分散させるより既存バスの代替として収入を確保できると受け入れやすい。
- ・自動走行ロボットなどの他モビリティサービスでも活用できるようなインフラ整備を検討してほしい。

4. 閉会